

証券コード:9319

平成25年3月期 会社説明会

平成25年6月5日



未来を預かる 未来を運ぶ
株式会社 中央倉庫

<http://www.chuosoko.co.jp/>

平成25年3月期 会社説明会資料 目次

1. 当社紹介

2. 2013年3月期 通期の実績

3. 中期経営計画『ACTION 2015』

1. 当社紹介



(1) 会社概要

- 社名 株式会社中央倉庫
- 本社所在地 〒600-8843 京都市下京区朱雀内畑町41番地
- 創立年月日 昭和2年10月18日
- 資本金 2,734,294千円(大阪証券取引所市場第一部上場)
- 単元株式数 100株
- 株主数 6,647名(平成25年3月31日現在)
- 従業員数 354名
- 主要な事業内容 倉庫業、貨物運送事業、通関業、梱包ならびに
包装資材の加工、販売業、倉庫、土地、建物
その他施設の賃貸業
- 事業所数 13都府県29事業所
- 所管面積 256,591m²(77,619坪)



(2) 沿革概略

- 昭和 2年10月 京都市下京区に京都中央市場倉庫株式会社を創立
- 昭和12年 9月 株式会社中央倉庫(現社名)に商号変更
- 昭和45年12月 京都証券取引所(平成13年3月、大阪証券取引所と合併)に上場
- 昭和48年 7月 当社荷主貨物の運送を行うことを目的として中倉陸運株式会社(連結子会社)を設立
- 昭和54年 3月 大阪税関長より通関業の許可を受ける
- 昭和60年 9月 大阪証券取引所市場第二部に上場
- 平成13年 9月 中国上海市に上海駐在員事務所を開設
- 平成19年 1月 安田中倉国際貨運代理(上海)有限公司(持分法適用関連会社)を設立
- 平成24年12月 大阪証券取引所市場第一部に上場

(3) 事業概略

当社企業グループの事業セグメント

物流のベースとなる中央倉庫の中核を担う事業。内陸型倉庫としてトップクラスの規模を誇る保管力を持つ。

倉庫部門

全事業所に運輸センター、窓口を設け、倉庫業、国際貨物取扱業とともに当社一環物流を担い、その主力となる。

運輸部門

梱包業、通関業を営む。梱包業を内製化し荷主からの多様なニーズに対応。上海に海外窓口を設け、一貫物流を行う。

国際貨物部門

(3) 事業概略

【 倉庫部門 】



物流のベースとなる「倉庫部門」は、中央倉庫の中核を担う事業のひとつです。当社では、内陸型倉庫として国内トップクラスの規模を誇る保管力と、先進の情報システムとの連携により機動力を活かした総合物流サービスを展開し、安心して安全な保管管理はもちろん、少量・多品種など、より多様化していくお客様のニーズに応えるため、サービスのカスタマイズ化に努めております。

また、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格である ISO/IEC27001:2005 を取得したトランクルームにて、ビジネス書類や書籍等の保管にも対応しております。

(3) 事業概略

【 運輸部門 】



当社全事業所に運輸センター、窓口を設け、倉庫業、国際貨物取扱業とともに当社一貫物流を担い、その主力となっております。

また、当社子会社の中倉陸運が、国内12営業所に保有する213台のトラックを活用した実運送を取り扱うことにより、内製化を図り更なるコスト競争力と利便性を実現しております。

(3) 事業概略

【 国際貨物部門 】



当部門においては、梱包業、通関業を営んでおります。
他社に無い、梱包業を内製化し荷主からの多様なニーズに対応しております。
また、安田中倉国際貨運代理(上海)有限公司等の海外窓口を設け、海外工場－国内生産地及び消費地間を結ぶ一貫物流を行っております。
さらに国際品質保証規格ISO9001:2008の認証を京都PDセンター及び滋賀PDセンターで取得し、高品質なサービス提供を実施しております。
また、法令遵守とセキュリティ体制を認められたAEO事業者(特定保税承認者)に承認され、国際物流に貢献しております。

(3) 事業概略

国土交通省普通営業倉庫21社統計内の当社保管貨物構成比及び所管面積シェア

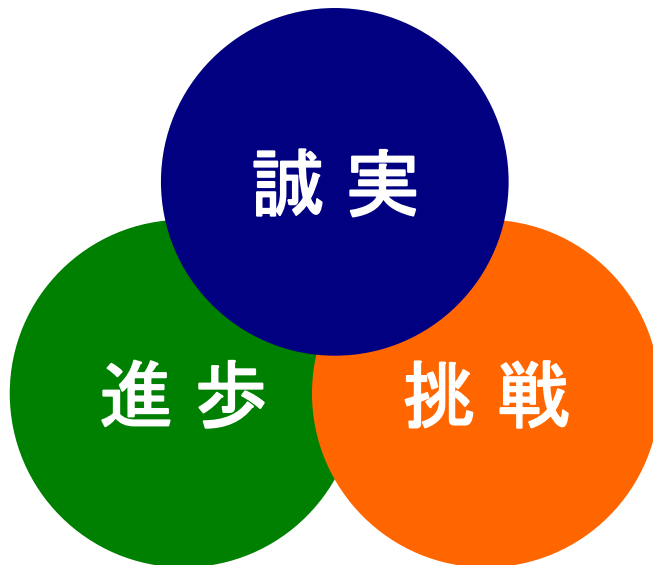
品 目	保管残高				
	中央倉庫		21社		当社シェア
	トン数 (千トン)	構成比 (%)	トン数 (千トン)	構成比 (%)	トン数 (%)
1 農水産品	14.2	6.5	712.3	15.4	1.99
2 金属	0.0	0.0	182.5	3.9	0.00
3 金属製品・機械	4.1	1.9	430.4	9.3	0.95
4 窯業品	0.0	0.0	24.0	0.5	0.00
5 化学工業品	35.0	16.0	805.4	17.4	4.35
6 紙・パルプ	4.4	2.0	234.6	5.1	1.88
7 繊維工業品	66.7	30.4	104.7	2.3	63.71
8 食料工業品	8.9	4.1	729.2	15.8	1.22
9 雑工業品	30.5	13.9	487.8	10.6	6.25
10 雑品	55.5	25.3	910.8	19.7	6.09
合 計	219.3	100.0	4,621.6	100.0	4.75
所管面積 (千㎡)	255.7		7,148.7		3.58

出典：国土交通省普通営業倉庫21社統計2013年3月より

(4) 経営理念

企業理念

コーポレート・スローガン



「未来を預かる、
未来を運ぶ」

(5) 中長期ビジョン

①企業の物流効率化、コスト削減等の
ソリューションを提案できる総合物流会社

②グローバル物流と物流センター機能を備えた
サービス提供力のある総合物流会社

③収益力、健全な財務バランスと高度な品質に
支えられた**信頼感のある企業**

④環境経営、内部統制など**CSRを果たせる企業**

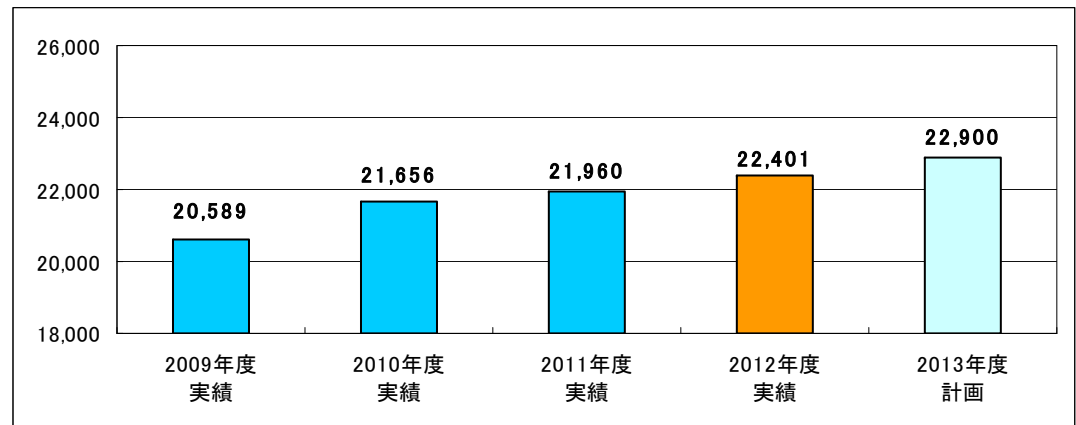
⑤未来志向で**創造力のある人材育成**ができる企業

2. 2013年3月期 通期の実績

(1) 連結業績結果と計画

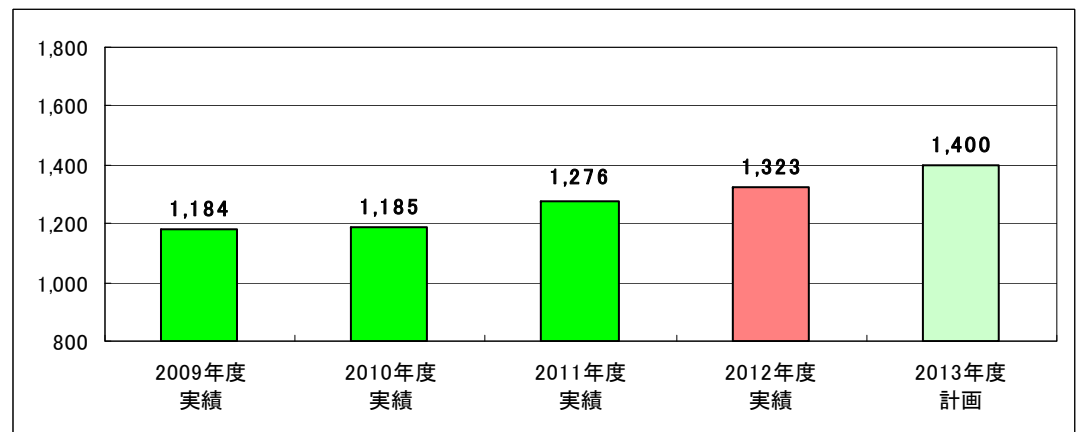
営業収益 (百万円単位)

■ 2012年度実績は
前年度比2.0%増加



営業利益 (百万円単位)

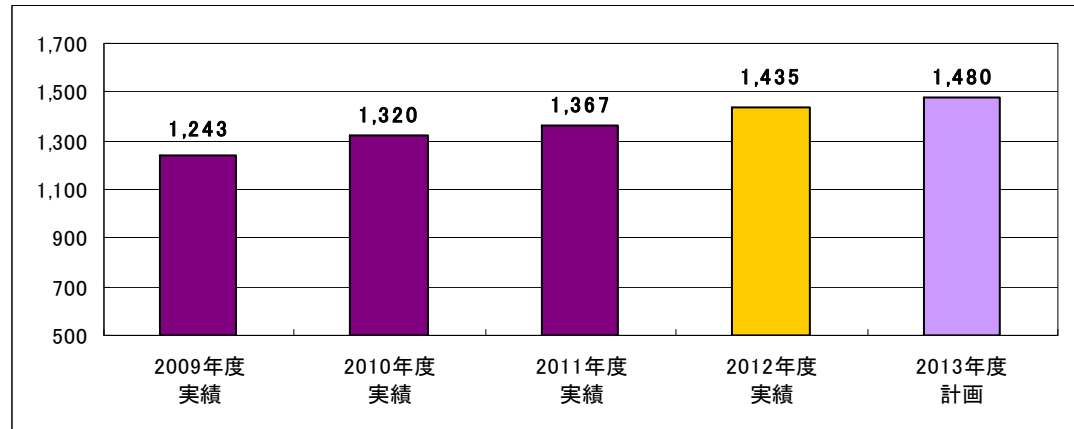
■ 2012年度実績は
前年度比3.7%増加



(1) 連結業績結果と計画

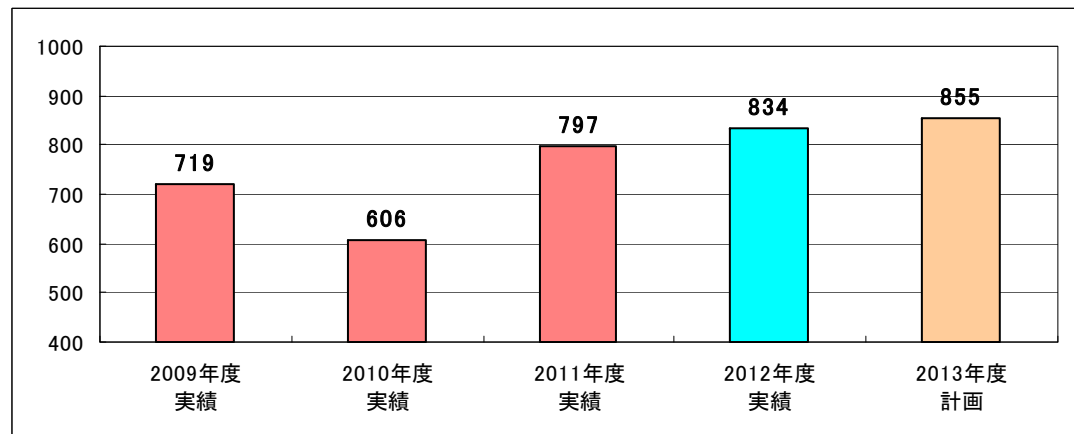
経常利益 (百万円単位)

- 2012年度実績は前年度比5.0%増加。



当期純利益 (百万円単位)

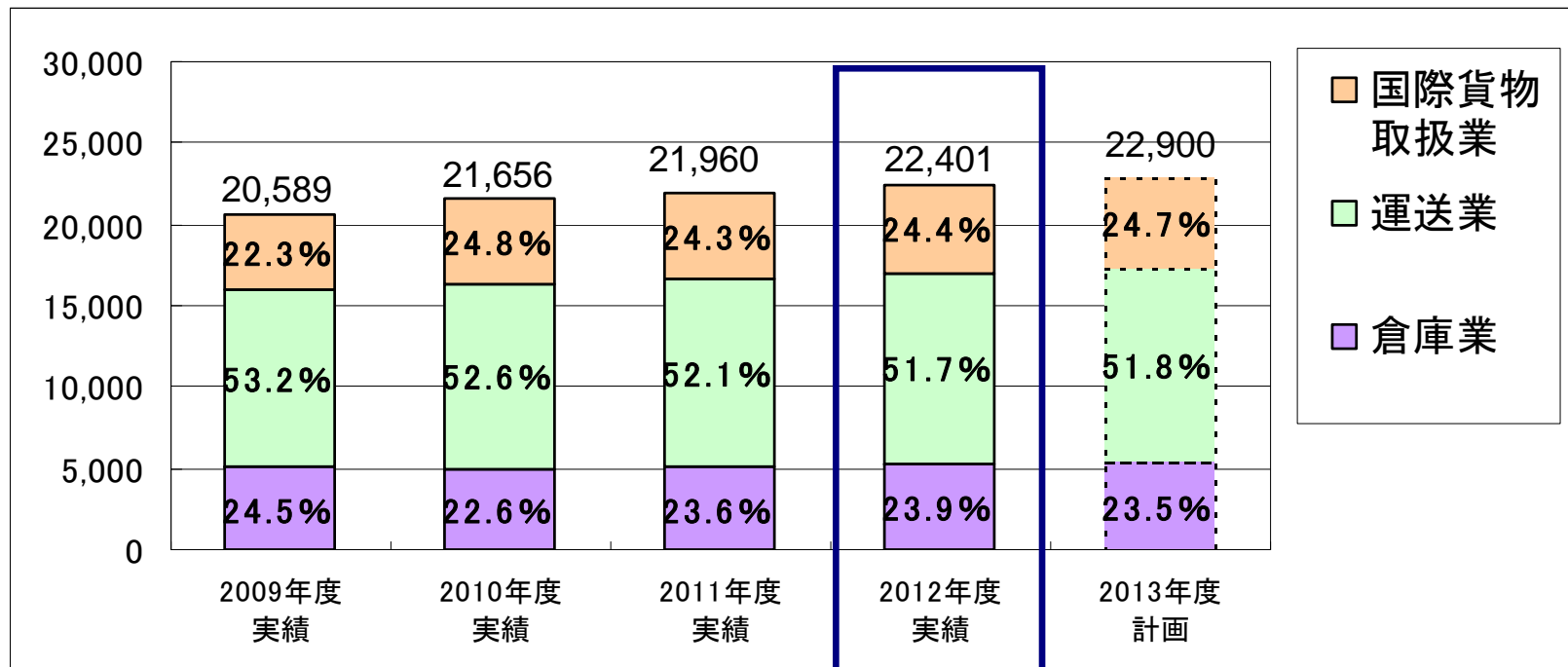
- 2012年度実績は前年度比4.6%増加。



(2) セグメント別状況

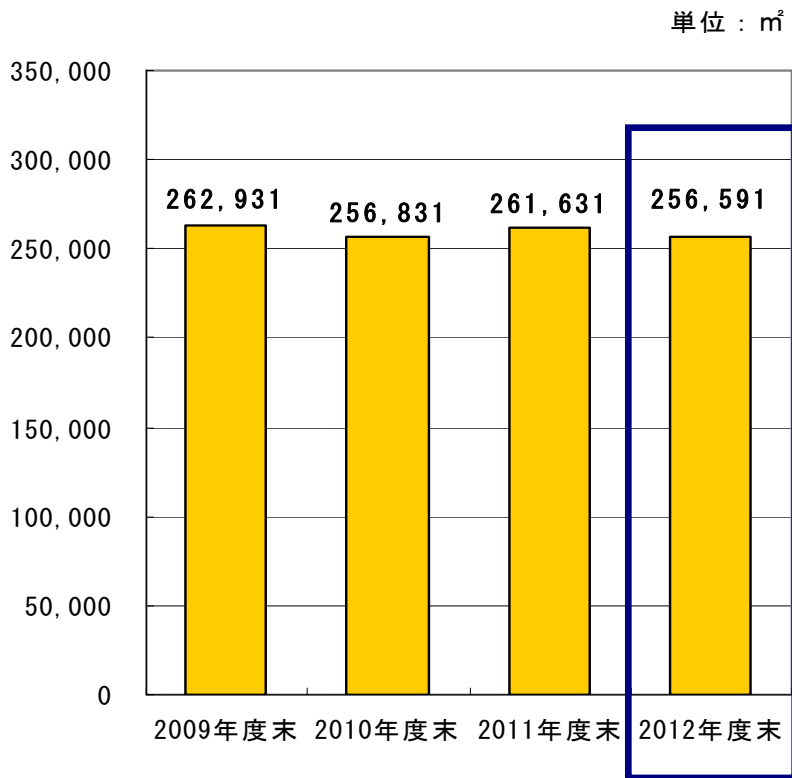
営業収益に占めるセグメント構成割合

単位：百万円

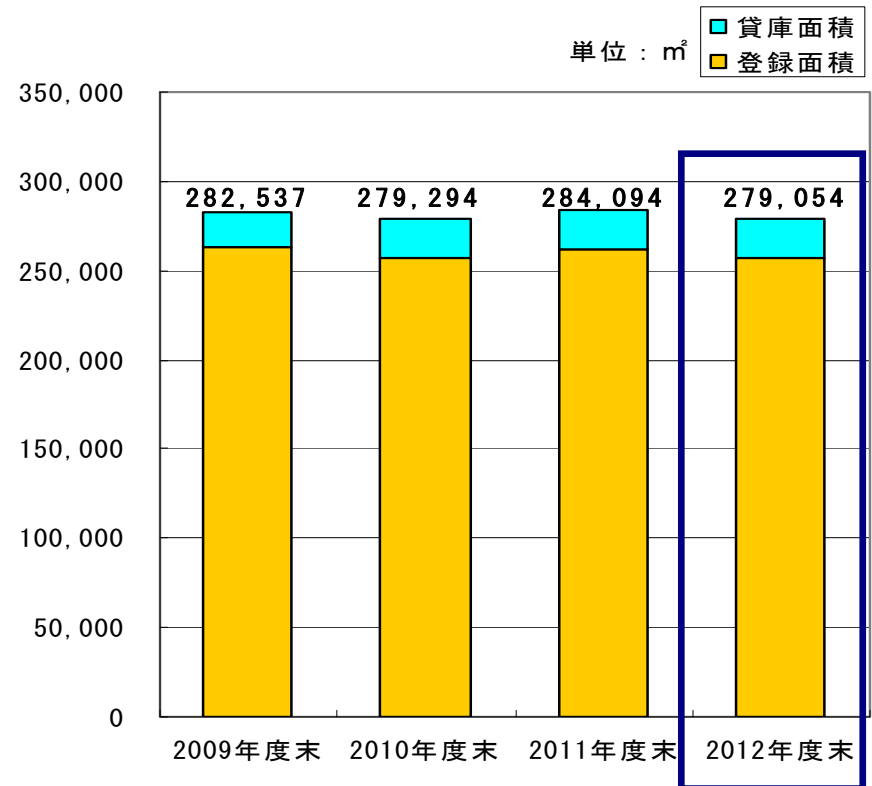


(3) 取扱高推移

倉庫業所管面積

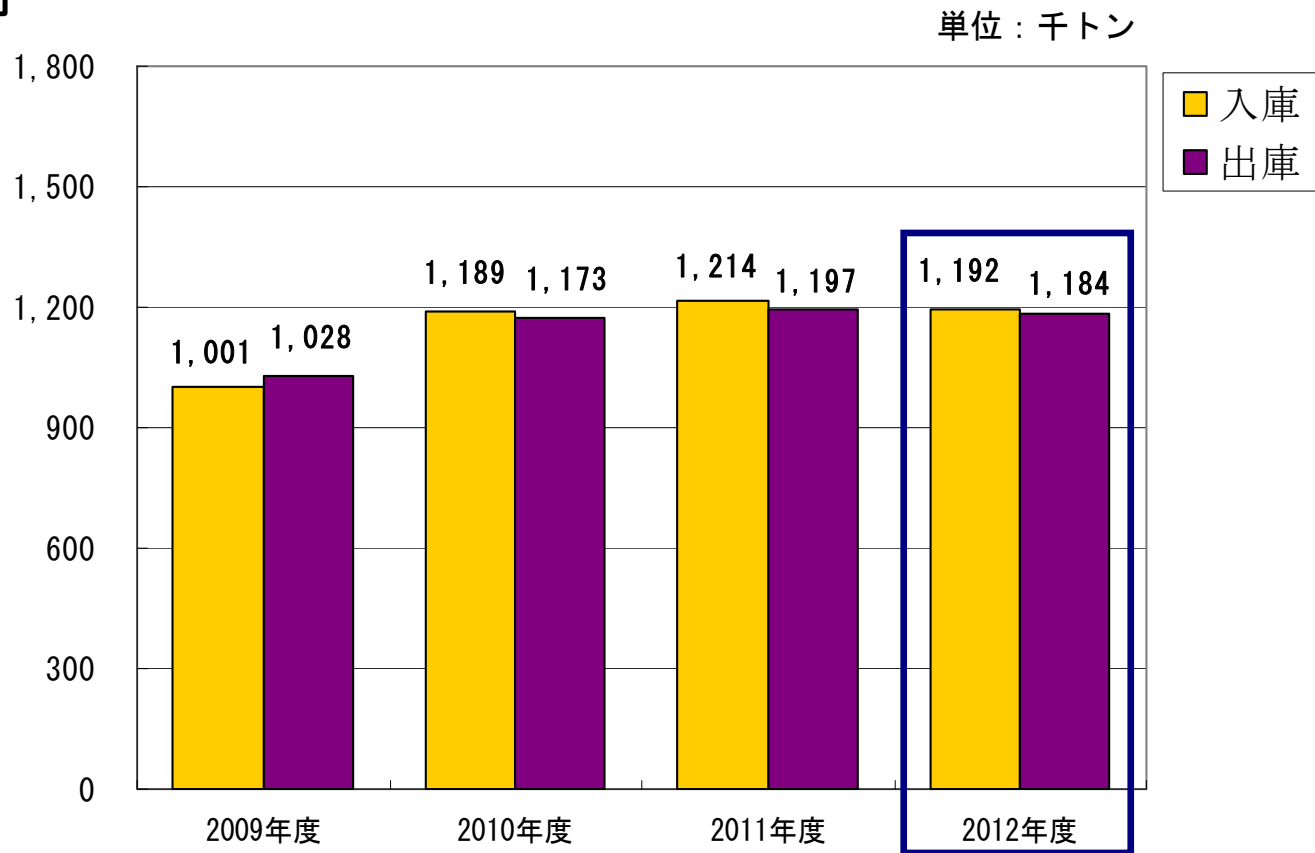


全所管面積



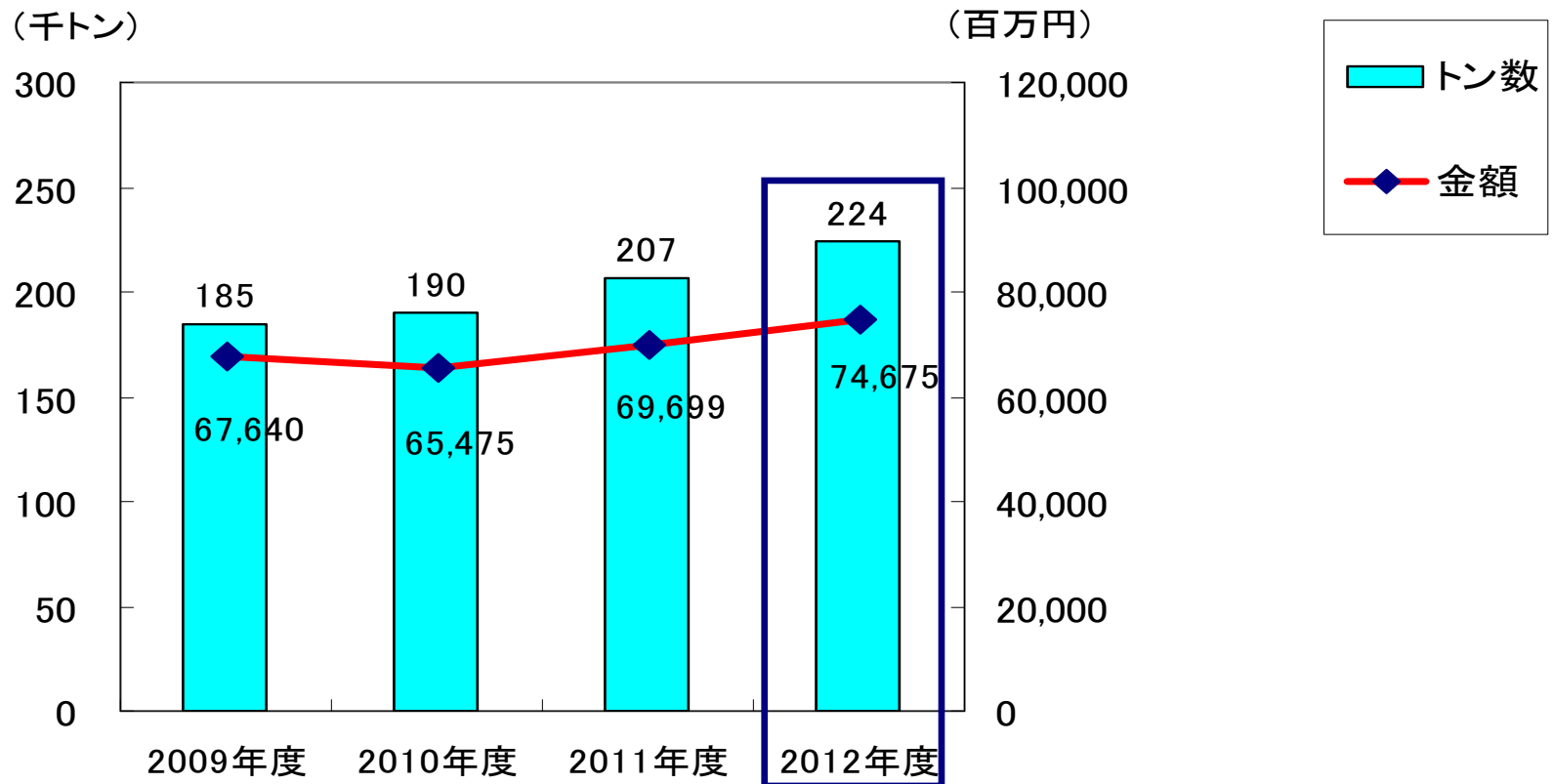
(3) 取扱高推移

入出庫高



(3) 取扱高推移

月末平均保管残高

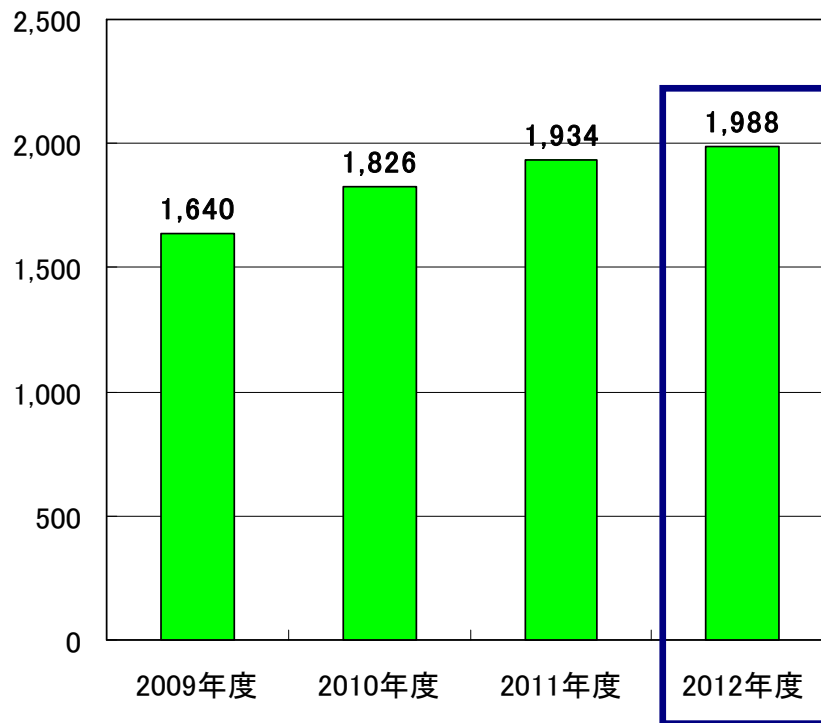


～未来を預かる、未来を運ぶ～

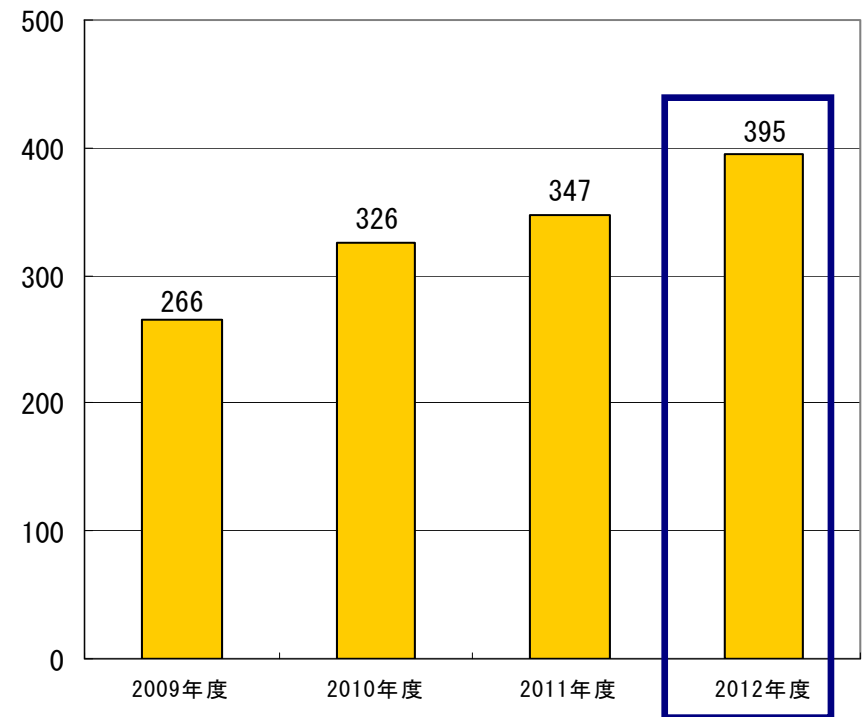


(3) 取扱高推移

運送取扱数量(千トン)



輸出入取扱数量(千トン)



(4) キャッシュフロー・設備投資の状況

○キャッシュフローの状況

単位:百万円

	2010年度	2011年度	2012年度	増減
税金等調整前当期純利益	1,046	1,336	1,369	33
減価償却費	1,292	1,233	1,173	△60
法人税等支払	△763	△550	△455	95
その他	362	△459	△1	458
営業キャッシュフロー	1,937	1,560	2,086	526
投資キャッシュフロー	△316	△450	△497	△46
財務キャッシュフロー	△774	△799	△339	460
フリーキャッシュフロー	1,620	1,109	1,589	480

■税金等調整前利益は増加、フリーキャッシュフローも増加

○設備投資の状況

単位:百万円

	2010年度	2011年度	2012年度
設備投資額	479	516	980
新設・増設	0	0	416
改修等	124	112	170
車両更新	209	164	206
その他	146	239	188

■城南営業所改築工事等で4億1千6百万円、車両更新で2億6百万円。

(5) 連結財政状態

単位:百万円

	2010年度	2011年度	2012年度	増減
現預金	5,428	5,738	6,989	1,250
営業未収金等	3,104	3,308	3,317	9
その他流動資産	651	594	668	74
有形・無形固定資産	23,258	22,481	22,232	△249
投資その他資産	5,015	5,198	6,707	1,509
総資産	37,457	37,321	39,915	2,593
営業未払金等	1,159	1,205	1,201	△4
借入金	4,564	4,187	3,678	△509
その他	1,584	1,257	2,332	1,075
負債合計	7,307	6,650	7,212	562
自己株式	△930	△930	△35	895
その他	31,080	31,601	32,737	1,136
純資産	30,149	30,671	32,702	2,031

■実績

- ・現預金の増加、月商の3倍以上
- ・減価償却12億円、設備投資10億円等により有形固定資産2億5千万円減少
- ・借入金約5億円圧縮

(5) 連結財政状態

	2010年度	2011年度	2012年度	増減
現預金(百万円)	5,428	5,738	6,989	1,250
自己資本比率(%)	80.1%	81.8	81.6	△0.2
ROE(%)	2.0%	2.6	2.6	0
ROA(%)	1.6%	2.1	2.2	0.1
1株当たり純資産(円)	1,668.73	1,697.42	1,711.44	14.02

(6) 配当実績

決算年月	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期 (予定)
中間(円)	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
期末(円)	12.50	12.50	12.50	12.50	13.50
通期(円)	22.50	22.50	22.50	22.50	23.50
配当性向(%)	75.3	54.7	66.8	50.8	51.6
DOE(単体)(%)	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4

※2013年3月期の期末配当には大阪証券取引所市場第一部上場記念配当1円を含む。

3. 中期経営計画『ACTION 2015』

(1) 戦略基本方針

《戦略基本方針》 ...当社が目指す2015年の姿

1. お客様の立場に立った**高品質な総合物流サービス**を**安定的に提供**できる企業
2. 経営資源の最適配分と強固な経営財務基盤に基づく**信頼感**を提供できる企業



～未来を預かる、未来を運ぶ～



株式会社 中央倉庫

(2) 主たる取組み

- ① **ソリューション営業力の強化と物流総合施設と機能の更なる拡充**による事業基盤の強化
- ② 業務連携等の取組み強化による**事業基盤のネットワーク拡充**
- ③ お客様満足度の高い**品質本位のサービス提供**による信頼性の向上
- ④ 経営資源の最適配分による効率経営の推進等**コスト競争力の確保**
- ⑤ **提案型営業戦力の強化と熟練専門技術の継承**に向けた取組みの強化

(3) 連結業績目標と投資計画

連結業績目標

(百万円)

	2012年度実績	2015年度目標	増加率 (%)
営業収益	22,401	24,500	9.3
営業利益	1,323	1,500	13.3
経常利益	1,435	1,600	11.4

投資計画

用地取得、増設、システム投資等合計60億円程度

(3) 連結業績目標と投資計画



京都支店城南営業所(京都市伏見区)

(4) 株主利益還元策

配当政策の基本方針

当社は事業の性格を踏まえ財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、株主利益を重視した配分を基本方針としております。この方針のもと、配当につきましては純資産配当率(DOE: Dividend on Equity)1%程度(単体ベース)を下限の目処とし、加えて当期および今後の業績、配当性向、財務面での健全性等を総合的に勘案するとともに、特殊な要因がある場合を除き、安定的な配当を実施することとしております。

買収防衛策

株主共同の利益を確保するため、買収防衛策を継続いたします。

(4) 株主利益還元策

株主優待

対象株主様	優待の内容
100株以上1,000株未満保有	おこめ券2kg
1,000株以上5,000株未満保有	おこめ券4kg
5,000株以上保有	おこめ券10kg

保有継続期間3年以上の株主様(中間期末日および期末日の株主名簿に同一株主番号で連続7回以上記載または記録された株主様)を対象に、下記基準でおこめ券を追加贈呈させていただきます。

対象株主様	優待の内容
3年以上継続して100株以上1,000株未満保有	おこめ券1kg
3年以上継続して1,000株以上5,000株未満保有	おこめ券2kg
3年以上継続して5,000株以上保有	おこめ券5kg

(5) 当社株価と出来高推移

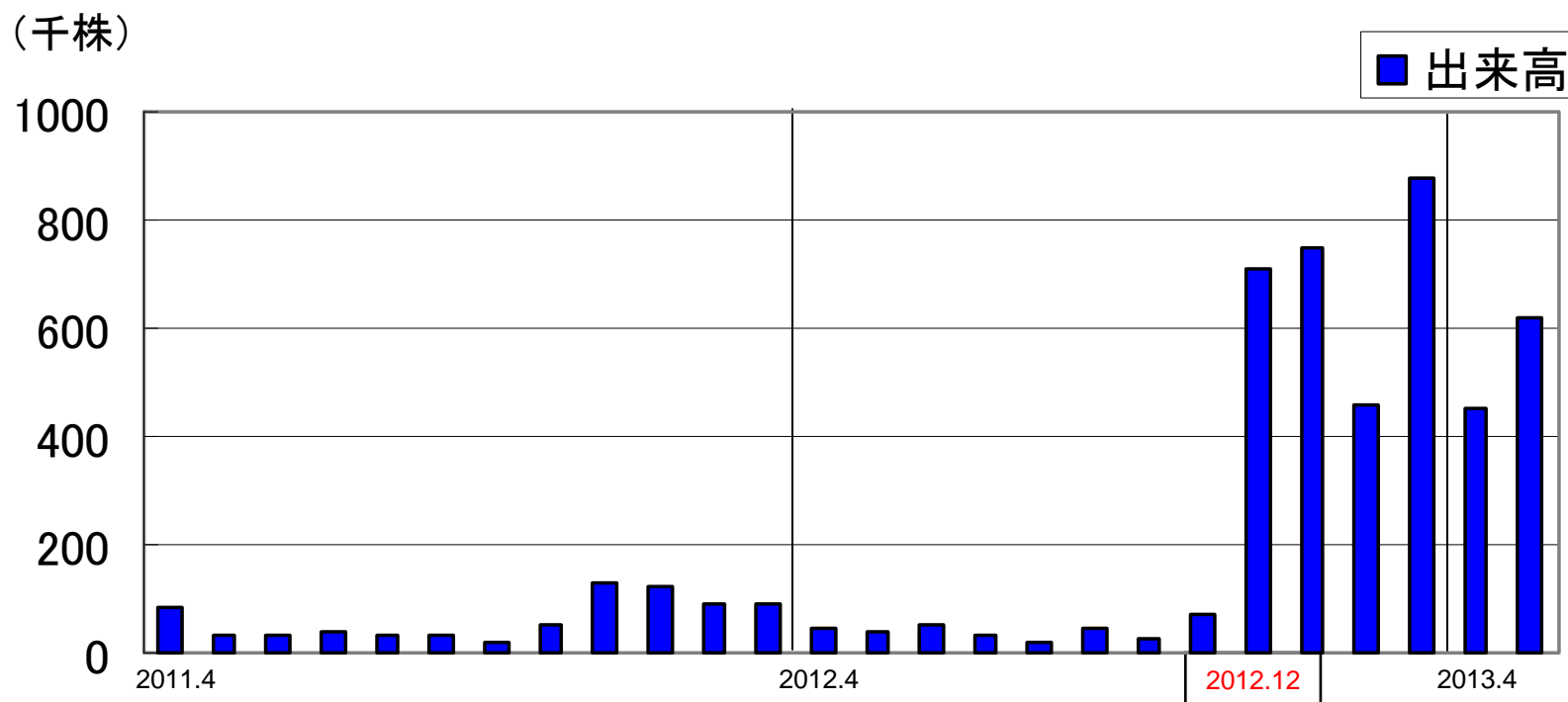
Chuo Warehouse Co.,Ltd.

2013/6/3



(5) 当社株価と出来高推移

月間出来高推移表



証券コード:9319

本日はご多忙のところご来臨賜り
ありがとうございました。

本資料に含まれる将来の予測に関する事項は、本資料作成時点において入手可能な情報による当社の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。従って、実際の業績等はさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。また、本資料は情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。



未来を預かる 未来を運ぶ
株式会社 中央倉庫